

令和7年度版 「中学道徳 とびだそう未来へ」
2年 年間指導計画・評価の視点 (案)

○本表は、4・6・11・1・2月に、それぞれ1時間のゆとりの時間を想定して作成しています。
○ゆとりの時間では、学校の実情に応じて補充教材を活用したり、それに替えて郷土資料等を活用したりすることを想定しています。

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問 (○は導入)	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
4 月 ③	1 お菓子、どうする？ 「みんなが納得できる ルール作りのために」 【C 遵法精神、公德心】	1	望ましいルールについて 自分の立場を可視化しな がら話し合うことを通し て、「自分自身の意思」と 「他者の意思」を両立でき る、きまりのよりよいあり 方について考えようとする 道徳的判断力を育てる。	1 事前アンケートをもとに、ルールに納得できない心情について話し合う。 ○今まで「このルールは納得できない」と思ったことはあるだろうか。 ●ルールに納得できないのは、どんなときだろう。なぜ納得できないのだろう。 2 心情メーターを活用して自分の立場を可視化し、そのように考える理由について話し合う。 3 ルールの成立プロセスの違いによって、守る側の心情に違いが出るのかについて考え、話し合う。 ●与えられたルールを守ることと、自分たちが作ったルールを守ることの違いはなんだろう。 4 みんなが納得できるルール作りのために大切にしたいことについて考えを深める。 ●いろいろな考えの人が集まっているクラスで、みんなが納得できるルールを作るときに、大切にしたいことはなんだろう。	【多面的・多角的に考える】 一見理不尽にも見えるきまりにも意義があることに気づき、よりよいきまりのあり方について、級友の意見にふれ、自身の考えを深めている。 【自分ごととして考える】 学級目標の話し合いのプロセスなどを想起しながら、自分の問題として、よりよいきまりのあり方について自分なりの考えを深めている。	特別活動	
	2 まるごと好きです 「他者の個性を尊重する とは」 【B 相互理解、寛容】	1	「まるごと好きになる」手 法について考えることを 通して、これまでの自分 の人のつき合い方を振り 返りながら、それぞれのよ さや個性を尊重できる実 践的態度を養う。	1 人とのかかわり方について考える。 ○他者の個性を尊重するとは、どういうことだろう。 2 「まるごと好きです」を読み、それぞれの個性を尊重することについて話し合う。 ●筆者の「まるごと好きになる」という考えについて、あなたは思うだろうか。 ●どうしても相手との違いを受け入れられない場合は、どうしたらいいのだろう。 ●よさや個性をまるごと感じ合うことについて、大切だと思うことを話し合ってみよう。 3 教師の説話を聞く。	【多面的・多角的に考える】 「まるごと好きになる」という考えについて、友達の意見を真剣に聞きながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 どうしても相手との違いを受け入れられない場合のつき合い方について、自らの経験と重ねて考えを深めている。	特別活動	
5 月 ③	3 先輩 「自律した生き方」 【A 自主、自律、自由と責 任】	1	部活動に対して真面目に 取り組むことのできな かった「僕」の言動につ いて考えることを通して、自 律した生き方で得られる ものに気づき、自律ある行 動をとろうとする態度を 育てる。	1 「先輩」とはどんな存在か、思っていることを出し合う。 ○「先輩」とは、どんな存在だろう。 2 「先輩」を読み、自律的な行動について話し合う。 ●僕が、一年生の言葉に「ガンと頭を殴られたような気がした」のはなぜだろう。 ●あなたが「僕」だったら、この後どのような行動をとるだろうか。 ●自律的な言動をとれるようにするためには、どのような心構えが必要だろうか。 3 自律的な言動とはどのようなものか、考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 自律的に行動し自らの行為の結果に責任をもつことの大切さについて、「僕」「岡村」「一年生」のそれぞれの心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自律的に生きるために大事にすべきことについて、「僕」の気づきを捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	特別活動	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
5 月 ③	4 あなたの声、心に届 け 「誰もが自分らしく生き るために」 【C 公正、公平、社会正義】	1	人と違うと不安になったり、ありのままの自分では られなかったりする理由 を話し合うことを通して、 同調圧力に流されない、偏 見のない社会の大切さに 気づき、誰もが自分らしく 生きられる社会のために、 自分にできることを実践 しようとする意欲を高め る。	1 「みんなと同じほうが良いと思うこと」について事前のアンケートをもとに話 し合う。 ○みんなと同じほうが良いと思うことはあるだろうか。 2 「あなたの声、心に届け」を読んで、無意識の思いこみや同調圧力について話 し合う。 ●「みんなと変わらない見た目だと恥ずかしい思いをしなくてすむ」という「私」 の考えはどこからきたのだろう。 ●「私」は「ありのままの妹を見てほしい。」と言うが、人がありのままでいられ ないのはなぜだろう。 3 本時の学びを振り返りながら、自分にできることを考える。 ●誰もが自分らしく生きられるようにするために、あなたにできることはなんだ らう。	【多面的・多角的に考える】 自分がよかれと思って配慮した言動であつ ても、相手の尊厳を傷つけてしまう場合も あることに気づいている。 【自分ごととして考える】 「私」の主張から、姉・妹それぞれの思いに 寄り添い、誰もが自分らしく生きることが できる社会の実現のために、まず自分から 行動しようとする思いを膨らませている。		目標 10
	5 最優秀 「個性や立場の尊重」 【B 相互理解、寛容】	1	「私」、智美、詩織の三人の 校内音楽祭に対する思い について考えることを通 して、「お互いの立場や考 えを理解すること」が重要 であることに気づき、自分 も寛容な態度をもちなが ら、相互理解につとめよう とする心情を育てる。	1 相互理解、寛容について考える。 ○あなたは友達の考えを理解したり、自分の思いをうまく伝えたりできているだ らうか。 2 「最優秀」を読み、寛容な心をもってお互い理解し合うようにするにはどうし たらよいか、考える。 ●詩織が学校を休んだのはなぜだろう。 ●「私」、智美、詩織は、それぞれどうすればよかったのだろう。 ●お互いの気持ちを尊重しながら生活するとき、大切なことはなんだろう。 3 相互理解、寛容について、考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 「私」、智美、詩織の思いを、それぞれの立 場に立ったうえで、しっかり考えている。 【自分ごととして考える】 三人の思いを共感的に捉えたうえで、お互 いの気持ちを尊重しながら生活するのに大 切なことを自分に置きかえ、考えを深めて いる。	音楽、特別活 動	目標 16
6 月 ④	6 留学で考えさせられ たお金 「自制心をもつ」 【A 節度、節制】	1	お金の意義や価値につい て考えることを通して、望 ましい生活習慣を身につ け、節度を守り節制に心が けようとする心情を育て る。	1 日頃のお金の使い方について振り返る。 ○あなたは日頃、どんなことにお金を使っているだろう。お金の価値について考え たことはあるだろうか。 2 「留学で考えさせられたお金」を読み、いきたお金の使い方について話し合う。 ●「私」はどうしておこづかいを残して帰国したのだろう。 ●「いきたお金の使い方」とはどういうことか、話し合ってみよう。 ●調和のある生活を送るために何ができるか考えよう。 3 今日の授業を通して、今後どのようにお金を使っていきたいか考える。	【多面的・多角的に考える】 お金とは何か、お金はなぜ必要なのかと、お 金の価値について、「私」の心情を理解しな がら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「いきたお金の使い方」についての話し合 いを通して、無駄づかいをせずに過ごそう とする大切さについて、「私」の葛藤 を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考え を深めている。	国語、技術・ 家庭	
	7 六千人の命のビザ 「真の国際人とは」 【C 国際理解、国際貢献】	1	杉原千畝の決断を支えた 思いについて話し合うこ とを通して、国際的視野に 立って世界の平和と人類 の発展に寄与する大切さ に気づき、千畝の生き方か ら学んだことを自分の人 生にいかしていこうとす る実践意欲を育てる。	1 事前アンケート結果を共有し、本時のテーマについて確認する。 ○平和な世界のほうが良いはずなのに、戦争が起こるのはなぜだろう。 2 千畝の決断を支えていた思いとは何か、話し合う。 ●外務省の命令に背いてまでも杉原千畝がビザを出すことを決断したのはなぜだ らう。 ●千畝はどんな気持ちで、ホームに立つユダヤ人たちに深々と頭を下げたのだら う。 3 千畝の生き方から学んだことを振り返る。 ●世界の平和を実現するために、千畝の生き方から、あなたの生き方にいかせるの はどんなことだろう。	【多面的・多角的に考える】 いかなる国の人々も同じ人間として尊重 し、公正・公平に接する真の国際人のあり方 について、多くの級友の意見にふれ、自身の 考えを深めている。 【自分ごととして考える】 杉原千畝の生き方を通して、未来の自分の 生き方について気持ちを膨らませている。	社会	目標 10 目標 16

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
6 月 ④	8 心のアンテナ 「あなたらしさとは」 【A 向上心、個性の伸長】	1	「私」の葛藤や発見を教材で追体験することを通して、自らの個性に気づき、伸ばし、自分らしく生きていこうとする態度を育てる。	1 自分らしさについて考え、発表する。 ○「あなたらしさとは？」と聞かれたら、どのように答えるだろうか。 2 「心のアンテナ」を読み、話し合う。 ●「心には黒い気持ちがあざわざと広がって」とあるが、「私」は、どのような思いだったのだろうか。 ●「自分の居場所をようやく見つけられたような」気がした「私」は、どのようなことを考えていたのだろうか。 ●あなたの心のアンテナが動くものを、たくさん書き出してみよう。 3 筆者のメッセージ動画を視聴する。 4 教師の説話を聞く。	【多面的・多角的に考える】 「私」と「級友たち」、それぞれの気持ちについて話し合うことを通して、自他の個性を尊重する大切さに気づき、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自分の個性を発見することが好循環となり、さらに自分の個性をいかした生き方につながっていることに気づいた発言をしている。	特別活動	目標 16
7 月 ②	9 本当の友達って 「本当の友情とは」 【B 友情、信頼】	1	本当の友情について考えることを通して、心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めようとする心情を育てる。	1 友情について考える。 ○あなたにとって、「心から信頼できる友達」とはどういう人だろう。 2 「本当の友達って」を読み、本当の友達とはどんな存在か話し合う。 ●悠太がスマホを気にして生活するようになっていったのはなぜだろう。 ●悠太が、達也からもらった写真をとおして気づいたのはどんなことだろう。 ●「本当の友達」とはどういう存在なのだろうか。話し合ってみよう。 3 友達関係について考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 本当の友達とはどういう存在なのかについて、悠太の心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 悠太の葛藤を共感的に捉え、心から信頼できる友達と人間関係を築き、互いに高め合いながら成長することの大切さについて、自らの経験と重ねて考えを深めている。	技術・家庭	
	10 風に立つライオン 「気高く生きる」 【D よりよく生きる喜び】	1	人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや、気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見出す心情を育てる。	1 「自分の生き方」について考える。 ○自分の夢を追いつける生き方について、あなたはどのように思うだろうか。 2 「風に立つライオン」を読み、「自分の生き方」について話し合う。 ●恋人を日本に残したまま、ケニアに行った「僕」の決意について考えてみよう。 ●「僕は風に向かって立つライオンでありたい」とはどういう思いを表しているのだろうか。 ●「僕」の生き方から感じたことを話し合ってみよう。 3 今日学んだことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 歌詞の中から、恋人への思いや「僕」の誇りある生き方について、いろいろな角度から考察してみることで、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「僕」の生き方を通して、自らの人生を前向きに生きようとする意欲を高めている。	音楽	目標 3 目標 8
9 月 ③	11 分身ロボットでかなえたいこと 「新しいものを創造する」 【A 真理の探究、創造】	1	吉藤オリィさんの「ないなら、つくる」という精神を手がかりに、「生きるとは、人の役に立つこと」について考えることを通して、主体的に真理を探究して新しいものを生み出そうとする意欲を養う。	1 ないならつくる（＝創造）について考える。 ○これまで「こういうものがあればいいのに」と感じた経験はあるだろうか。 2 「分身ロボットでかなえたいこと」を読み、新しいものを生み出すために必要なことは何か、話し合う。 ●吉藤さんが感じた「孤独」とはどのようなものなのか考えてみよう。 ●吉藤さんが分身ロボットを開発する原動力はなんだろうか。 ●新しい見方や考え方を生み出すために必要なことは何か、吉藤さんの生き方から考えてみよう。 3 分身ロボットカフェの様子を見て、自分も社会に役立つものを創造したいという意欲を育む。	【多面的・多角的に考える】 吉藤さんの「ないなら、つくる」という発想で新しいものを創造する姿勢を通して、思いこみや先入観にとらわれることなく、物事を多面的・多角的な視点で見ようとしている。 【自分ごととして考える】 孤独のストレスに苦しむ人をなくしたいと分身ロボットを開発した吉藤さんの姿から、自分も得意な分野をいかして、なにか世の中の役に立つものがつくれないかを考えている。	技術・家庭、 社会	目標 8 目標 9

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
9 月 ③	12 SNS とどうつき合 う？ 「安全で節度ある生活」 【A 節度、節制】	1	SNS の使い方について話 し合うことを通して、自分 の生活を振り返り、節度を 守り節制に心がけ、安全で 調和のある生活をしよう とする態度を育てる。	1 SNS について話し合う。 ○SNS のよいところはどこだろう。 2 「SNS とどうつき合う？」を読み、SNS の正しい使い方について話し合う。 ●「私」の考えや行動に、あなたが共感できるところとできないところはどこだろう。 ●「私」は、このあとどうすればよいだろう。 3 SNS とのよいつき合い方について話し合う。 ●SNS を利用するときに、心がけたいことはなんだろう。理由とともに出し合おう。	【多面的・多角的に考える】 節度を守り節制に心がけ、安全に生活する うえで、SNS とのつき合い方について、利便 性と危険性を理解しながら考えを深めてい る。 【自分ごととして考える】 「私」の立場に立ち、「私」の悩みを共感的 に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めて いる。	技術・家庭	目標 16
	13 あんパンとお礼状 「他者を敬う態度」 【B 礼儀】	1	職場体験で地域の人々と 関わることを通して、礼儀 の意義を理解し、相手に対 して尊敬や感謝の気持ち を具体的に表し、心と形が 一体となった、時と場に 応じた適切な言動をとろう とする心情を育てる。	1 「礼儀」について考える。 ○「礼儀」はどんなときに必要なだろう。 2 「あんパンとお礼状」を読み、「礼儀」について話し合う。 ●「僕」はお礼状をどんな気持ちで書いていたのだろう。 ●「僕」が、心がチクリとするのを感じたのはなぜだろう。 ●心と形が一体となった適切な言動をとることには、どのようなよさがあるだろう。 3 礼儀について私たちにできることは何か、考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 職場体験において、受け入れてくれた職場 に対して尊敬や感謝の気持ちを持ち、「僕」 の心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 社会のつながりの中で大切な礼儀につ いて考え、「僕」の葛藤を共感的に捉え、自らの 経験と重ねて考えを深めている。	総合的な学 習	
10 月 ④	14 清掃はやさしさ 「仕事への向き合い方」 【C 勤労】	1	清掃の仕事に誇りをもっ て取り組む「私」の姿を通 して、勤労の尊さや意義に ついての理解を深め、自分 も勤労を通じて社会に貢 献しようとする心情を育 てる。	1 役割を果たすうえで心がけていることはあるか、振り返る。 ○自分が受け持っている役割に対して心がけていることはあるだろうか。 2 「清掃はやさしさ」を読み、役割や仕事に対する向き合い方について考える。 ●「私」は「清掃に必要なやさしさ」とは、どういうことだと気づいたのだろう。 ●プライドをもって仕事をすると、どういうことだろう。 ●自分の役割や仕事に対して、あなたはこれからどのように向き合っていこうと 思うだろうか。 3 働くということについて考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 自分の役割や仕事に対して、どのように向 き合っていこうか様々な角度から考えを深 めている。 【自分ごととして考える】 将来の生き方について考えを深め、自分の 仕事に誇りを持ち勤労を通じて社会に貢献 しようとするということについて、「私」の葛藤を 共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを 深めている。	特別活動	目標 8
	15 夜の果物屋 「思いがけない心づかい への感謝」 【B 思いやり、感謝】	1	少女の気づきに共感する ことを通して、自分を支え ている善意に目を向け、そ のことに感謝し応えよう とする心情を育てる。	1 自分を支えてくれている多くの人の善意に気づく。 ○周りの人から受けた心づかいに感動したことはあるだろうか。 2 「夜の果物屋」を読み、感謝のあり方や表し方について話し合う。 ●果物屋のおばさんの話を聞いた時、少女はどんな思いだったのだろう。 ●「もっと、もっと、たくさん買いたいんだけど」という少女の言葉には、どんな 思いがこめられているのだろう。 ●今、あなたは、誰に、どんな「ありがとう」を伝えたいだろうか。 3 教師の説話を聞く。	【多面的・多角的に考える】 重荷にならないようにという配慮がなされ た思いやりに気づき、感謝の対象の広がり にも理解を深めている。 【自分ごととして考える】 本時の学びをいかして、今後、どのよう に感謝を伝えていきたいか、思いを膨らませ ている。		

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
10 月 ④	16 まだ食べられるのに 「持続可能な社会の実現」 【C 社会参画、公共の精神】	1	まだ食べられる食品が大量に廃棄されている現状について話し合うことを通して、「食」という身近なところから、よりよい社会づくりに関わっていこうとする態度を育てる。	1 まだ食べられる食品を捨ててしまった経験を出し合う。 ○まだ食べられるものを捨てたことはないだろうか。あるとすればその理由はなんだろう。 2 「まだ食べられるのに」を読み、食品ロスの現状について話し合う。 ●まだ食べられるのに捨ててしまう人を、あなたは思うだろうか。 ●やむをえない理由があれば、まだ食べられるものを捨ててもいいのだろうか。 3 消費者の一人として、どのように社会に関わっていききたいか、考えをまとめる。 ●「持続可能な社会」を実現するために、あなたはどんな消費者になりたいだろうか。	【多面的・多角的に考える】 やむをえない理由があれば捨ててもしかたないかという議論を通して、食品ロスの現状に対する考えを深めている。 【自分ごととして考える】 持続可能な社会の実現のために、食品ロスの視点から、自分の消費者としてのあり方を見つめ直そうとしている。	技術・家庭、 総合的な学 習、社会	目標 2 目標 12
	17 「べつの道」へ ～レイチェル＝カー ソンのメッセージ～ 「自然愛護に努める」 【D 自然愛護】	1	カーソンの自然環境に対する思いを理解することを通して、自然愛護が必要なことに気づき、自分もそのために寄与しようとする心情を育てる。	1 自然愛護について考える。 ○今、地球上にはどんな環境問題があるだろう。 2 『「べつの道」へ～レイチェル＝カーソンのメッセージ～』を読み、自然愛護について考える。 ●「カーソンの残したメッセージ」とは、どのようなことだろう。 ●自然環境を大切にすることは、どうして大事なのだろう。 ●自然環境を守るために、あなたができることは、どんなことだろうか。 3 自然愛護とはどんなことか、考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 地球上の環境問題について、人間の都合、地球上の生物のこと、未来の子孫のことなど、様々な面から考えている。 【自分ごととして考える】 地球の環境問題は全人類の問題であることに気づき、「グリーンコンシューマー十原則」を参考に、他人任せにするのではなく、自分にできることは何か、深く考えている。	理科	目標 12 目標 15
11 月 ④	18 違反摘発 「法やままりの意義」 【C 遵法精神、公德心】	1	法やままりの意義について考えることを通して、それらの大切さを再認識し、公德心に支えられた遵法精神と遵法への実践意欲と態度を育てる。	1 法やままりについて考える。 ○法やままりがなければいいのと思ったことはないだろうか。 2 「違反摘発」を読み、法やままりの意義について話し合う。 ●両者の立場になって、違反摘発に対する思いを代弁してみよう。 ●どんな場合でも、法やままりは優先されるべきなのだろうか。 ●法やままりは、誰のために、なんのためにあるのだろう。 3 今日学んだことをワークシートにまとめる。	【多面的・多角的に考える】 法やままりの意義について、両者の立場を踏まえたうえで、その心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 法やままりに対して自分がどう向き合っていくか、公德心に基づき、自分なりの考えを深めている。	国語、社会	目標 16
	19 心を鍛える 「その失敗は、本当に失敗？」 【A 希望と勇気、克己と強い意志】	1	荒木香織さんの生き方・考え方にふれ、挑戦するがゆえに直面する困難を乗り越える際に大切にしたいことを自分なりに考え、心構えを知り、積極的な思考や行動を習慣化していこうとする実践意欲を養う。	1 事前アンケートを活用し、緊張などで本来の力が発揮できなかった経験や、緊張の理由を話し合う。 ○大切な試合や発表会で、準備したのに力を発揮できなかったことはあるだろうか。 2 教材文を読み、大事な場面で本来の力を発揮するために大切にしたいことを話し合う。 ●十分準備したのに思ったような結果が出なかったときどうするか、荒木さんの考えを参考にしながら考えてみよう。 ●「心を鍛える十か条」の中で、自分が特に大切だと思うものを三つあげ、ランキングしよう。またその三つを選んだ理由も考えてみよう。 3 本時の学習を振り返る。 ●目標を達成しようとするとき、大切なことはなんだろう。	【多面的・多角的に考える】 荒木香織さんの考え方にふれることで、事実は変わらないが、見方・考え方を変えることで、ピンチをエネルギーに変えることができることに改めて気づいている。 【自分ごととして考える】 荒木香織さんの考え方を通して、希望と勇気をもって困難な状況を乗り越え、目標を達成しようとする気持ちを膨らませている。	保健体育	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
11 月 ④	20 狂言師・野村萬齋 物語 「伝統の継承、新しい文 化の創造」 【C 我が国の伝統と文化 の尊重、国を愛する態度】	1	野村萬齋さんの狂言に対 する思いを考えることを 通して、「伝統の継承や新 しい文化の創造」が必要 なことに気づき、自分も そのために寄与しようと する心情を育てる。	1 「伝統」「文化」について、 みんながどんな考えをもっているかを知る。 ○「伝統」「文化」と聞いて、どんなことを連想するだろうか。 2 「狂言師・野村萬齋物語」を読み、「 伝統 」や「 文化 」について考える。 ●萬齋さんは、なぜ狂言の道に進もうと決心したのだろう。 ●萬齋さんが、自分の子どもに狂言を教えるのはなぜだろう。 ●あなたが大切にしていきたいと思う「 伝統 」「 文化 」はなんだろう。 3 「 伝統 」「 文化 」とはどのようなものか、 考えをまとめる。	【 多面的・多角的に考える 】 「 伝統の継承 」「 新しい文化の創造 」の大切 さについて、萬齋さんのそれぞれの年代で の思いにふれ、自分の考えを深めている。 【 自分ごととして考える 】 「 伝統の継承 」「 新しい文化の創造 」につい て、萬齋さんの葛藤を自らの経験と重ねて 共感的に捉え、自分がこれからできること について考えを深めている。	国語、社会	
	21 わたしのせいじゃ ない 「正義とはなんだろ う？」 【C 公正、公平、社会正義】	1	「わたしのせいじゃない」 とはいえない問題につい て話し合うことを通して、 社会をよりよくするため に主体的に関わっていこ うとする実践意欲と態度 を育てる。	1 自分自身を振り返るアンケート結果をもとに話し合う。 ○あなたは誰に対しても公平に接することができているだろうか。 2 絵本を読み、いじめの傍観者の責任について考える。 ●114～118 ページの子どもたちの意見で、あなたがいちばん共感できない意見は どれだろうか。理由も考えてみよう。 ●このクラスの一員だったら、あなたは どうするだろうか。 3 社会的な問題と自分との関わりについて、改めて問い直し、本時の学びを振り 返る。 ●119 ページの写真の子どもたちの現状は、私たちと関わりはないのだろうか。 考えてみよう。	【 多面的・多角的に考える 】 公正、公平に関する話し合いを通して、世界 に視野を広げ、公正、公平な社会の実現のた めに自分にできることは何か考え、行動に 移そうという意欲を高めている。 【 自分ごととして考える 】 登場するクラスの一員なら自分はどんな言 動をするかについて考えることを通して、 傍観者の責任に思いをめぐらせ、自分の問 題として考えを深めている。	特別活動	目標 10 目標 16
12 月 ③	22 由紀のいら立ち 「友情や信頼とは」 【B 友情、信頼】	1	友達を注意する役割演技 をすることで、友達を尊重 することの大切さや難し さについて考え、友達とよ りよい関係を築き上げよ うとする心情を育てる。	1 本当の「友達のため」とは何か、考える。 ○「友達のためを思う」とはどういうことだろう。 2 登場人物の人間関係から望ましい友人関係について考える。 ●由紀はどんなことにいら立っているのだろうか。 3 役割演技で由紀のよくないところを注意し、感想を話し合う。 ●友達のよくないところを注意できるだろうか。話し合ってみよう。 4 理想の友達関係について考える。 ●理想の友達関係について考えてみよう。	【 多面的・多角的に考える 】 登場人物の心情について、考えられる可能 性を言動から多角的に検討し、友人に対す る注意の仕方については、様々な言い方や 内容を検討しながら、話し合っている。 【 自分ごととして考える 】 役割演技を行い、お互いに尊重しながら意 見を言い合うことの大切さや難しさについ て深く考えている。	特別活動	
	23 飛鳥へ、そしてま だ見ぬ子へ 「家族の愛情」 【C 家族愛、家庭生活の充 実】	1	井村さんの手紙を読むこ とを通して、無私の愛情を もって育ててくれた父母 や祖父母を敬愛し、家族を 大切に作る心情を育てる。	1 家族とはどんな存在か考える。 ○あなたにとって、家族とはどういう存在だろうか。 2 「 飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ 」を読み、 家族のかけがえのなさについて考え る。 ●井村さんはどんな気持ちでこの手紙を書いているのだろう。 ●病氣と闘い続けた井村さんを支えていたものは、なんだったのだろう。 ●家族の幸せとはなんだろう。そのためにあなたができることはなんだろう。 3 家族の大切さについて、考えをまとめる。	【 多面的・多角的に考える 】 最後まで病氣と闘い続ける井村さんを支え たものはなんであったのか、井村さんの心 情を理解しながら考えを深めている。 【 自分ごととして考える 】 家族の幸せについて考えを深め、家族の大 切さについて、井村さんの葛藤を共感的に 捉え、自らの経験と重ねて考えを深めてい る。	技術・家庭	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
1 月 ③	24 「金のおの」その後 「誠実な生き方とは」 【A 自主、自律、自由と責任】	1	誠実な生き方とは何かについて、様々な角度から考えることを通して、誠実でよりよい生き方を主体的に目指そうとする心情を高める。	1 誠実に生きるとは、どういうことか考える。 ○誠実に生きるとは、どういうことだろう。 2 教材全文を読み、話し合う。 ●一人めと二人めの木こりの行動について、どう思うだろうか。 ●それぞれの行動をとった三人の木こりの生き方について、どう考えるだろうか。 ●誠実な生き方とは、どのような生き方だろうか。 3 教師の説話を聞く。	【多面的・多角的に考える】 三人の木こりのそれぞれの姿を比較しながら、誠実な生き方について、様々な角度から考えを深めている。 【自分ごととして考える】 誠実な生き方について、自分の生活経験を振り返り、木こりの生き方と重ねて考えを深めている。		
	25 地下鉄で 「思いやって行動する大切さ」 【B 思いやり、感謝】	1	他者への思いやりの気持ちが具体的に表現された場面を読んだり、実際に演じたりすることを通して、はたらきかける側、はたらきかけられる側の気持ちを味わい、思いやりを行動に移そうとする実践意欲と態度を育てる。	1 本時の学習テーマについて知る。 ○最近、公共の場で見かけていいなと思った行動はあるだろうか。 2 「地下鉄で」を読み、思いやって行動する大切さについて話し合う。 ●「僕」、少女たち、おばあさんの役割を演じて、それぞれの立場で感じたことを出し合おう。 ●「少女たちの中にある美しさ」とは、どのような美しさだろう。 ●みんなが暮らしやすい社会にするために、今後どんなことができるだろうか。 3 本時のまとめを行う。	【多面的・多角的に考える】 級友の演技を、共感しながら興味をもって視聴し、登場人物の立場による感じ方の違いを理解しながら、少女の行為の道徳的価値について考えを深めている。 【自分ごととして考える】 教材を読んだ印象と、実際に演技をして味わう気持ちの違いを理解し、自分自身も思いやりを実践できる場やその方法を考え、実践意欲を高めている。	特別活動	
2 月 ④	26 国境なき医師団・貫戸朋子 「命を大切にするととは」 【D 生命の尊さ】	1	紛争という極限状況における医師の判断についての議論を通して、命を大切にするととはどういうことなのかを考えていこうとする態度を育てる。	1 「命の大切さ」を感じる場面について話し合う。 ○あなたは、どんな時に「命の大切さ」を感じるだろうか。 2 「国境なき医師団・貫戸朋子」を読み、「命を大切にするととはどういうことかについて話し合う。 ●貫戸さんが、自分の判断がよかったのか悪かったのか結論を出せずにいるのはなぜだろう。 ●あなたは、貫戸さんの判断をどう思うだろうか。 3 「命を大切にすると」ということについて考えをまとめる。 ●「命を大切にすると」とは、どういうことなのだろう。	【多面的・多角的に考える】 目の前の命をただ助けることが医師の仕事ではなく、おかれた状況の中で、どのような判断をしていくことが、本当に命を大切にすることにつながるのかを考えることの重要性に気づいている。 【自分ごととして考える】 紛争地における特殊な事例として捉えるのではなく、身近なところにも命の大切さを考えるべき場面があることに気づき、日常生活の中で命の大切さをもっと意識していきたいという考えを深めている。	社会	目標 3 目標 16
	27 たったひとつのたからもの 「精いっぱい生きる」 【D 生命の尊さ】	1	秋雪くんの生きる姿を見て周りの人がどう思ったかを考えることを通して、生きることの意義に気づき、精いっぱい生きていこうとする心情を育てる。	1 日々どんな気持ちで生きているか、振り返る。 ○あなたは一日一日を、どんな気持ちで生きているだろうか。 2 「たったひとつのたからもの」を読み、精いっぱい生きることについて考える。 ●秋雪くんの成長とともに、お母さんの心はどのように変化していったのだろう。 ●秋雪くんは、周りの人に何を教えてくれたのだろう。 ●精いっぱい生きるとは、どのように生きることだろう。 3 精いっぱい生きるということはどういうふうに生きることか、考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 精いっぱい生きることの大切さについて、秋雪くんだけでなく、お母さんの心情も理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 命を尊重することとは、単に生きながらえることではなく、精いっぱい生きてこそ生命の尊重につながるものだという捉え、自らの経験を重ねて考えを深めている。	理科、技術・ 家庭	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
2 月 ④	28 伝えるということ 「郷土の文化を継承する」 【C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】	1	郷土の伝統行事が長く継承されてきた理由や、継承する意義について話し合うことを通して、地域の伝統を継承・発展させるために自分にできることを実行に移そうとする意欲や態度を育てる。	1 事前アンケートの結果を共有し、地域への思いを再確認する。 ○あなたの住む地域には、どんなよさや伝統があるだろうか。 2 「伝えるということ」を読み、伝統を支える思いについて考えを深める。 ●田植踊が途絶えることなく何百年も続いてきたのはなぜだろう。 ●故郷の伝統に関わっていききたいという「私」の強い気持ちはどこからくるのだろうか。 3 本時の学びを振り返り、自分にできることを考える。 ●地域の伝統を守るために、あなたには何ができそうだろうか。	【多面的・多角的に考える】 困難を乗り越えて地域の伝統文化を継承してきた人への尊敬の念や感謝の気持ちにまで考えを深めている。 【自分ごととして考える】 郷土の伝統文化を継承する意義について、「私」の生き方から学び、自分は今後、どのようにしていきたいか考えを膨らませている。	社会、総合的な学習	
3 月 ②	29 三年生を送る会 「先輩への敬愛」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	感謝の気持ちをこめて三年生を送り出す行事への姿勢について考えることを通して、教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合って、集団生活の充実に努めようとする心情を育てる。	1 学校行事について振り返る。 ○二年生として、あなたは学校行事にどんな姿勢で取り組んできただろうか。 2 「三年生を送る会」を読み、よりよい学校生活のために自分に何ができるかについて話し合う。 ●「僕」は、田村先輩と話してどんなことを決心したのだろうか。 ●「僕」が学校行事をとおして学んだことはなんだろう。 ●学校の一員として、あなたにできることはどんなことだろうか。 3 よりよい学校生活を送るために私たちができることについて、考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 学校行事において、学校の一員としての自覚をもち、自分の役割について、「僕」の心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 学校の伝統を引き継ぎ、先輩がたに感謝の気持ちを伝え集団生活の充実に努めようとするものの大切さについて、「僕」の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	特別活動	
	30 ハッチを開けて、知らない世界へ 「本物に触れる」 【D 感動、畏敬の念】	1	体験したからこそ感じる宇宙や地球とのつながりについての話し合いを通して、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深め、感動する心情を育てる。	1 いろいろな自然の写真をもとに、感動した経験を話し合う。 ○知っているつもりだったが、本当はよく知らなかったと感じたことはあるだろうか。 2 「ハッチを開けて、知らない世界へ」を読み、野口さんが宇宙で抱いた思いについて話し合う。 ●「僕」が、知っている「つもり」だったということに気づくことができたのはどうしてだろう。 ●「僕と地球は、対等な一对一の存在でした。」とは、どういうことだろう。 3 自然や芸術に触れた時の感動を話し合う。 ●自然や芸術に心を打たれたことはあるだろうか。その時感じたことを出し合ってみよう。	【多面的・多角的に考える】 宇宙のような壮大なところにだけ人の心に働きかけてくる大きな力があるのではなく、自分がこれまで触れてきた自然や芸術など日常の中にもそのような力があることに気づいている。 【自分ごととして考える】 本物に触れるすばらしさを改めて実感し、本物の自然や芸術などにもっと触れる機会を多くしていきたいという意識を高めている。	理科	目標 9
補充 教材	31 五万回斬られた男・福本清三 「誠実な生き方」 【A 向上心、個性の伸長】	1	「五万回斬られた男」と称される福本清三さんの生き方について考えることを通して、自分自身が納得できる充実した人生を生きるための心得を模索しようとする心情を育てる。	1 自分自身について改めて考える。 ○自分らしさを感じる瞬間って、どんな時だろう。 2 「五万回斬られた男・福本清三」を読み、自分らしい生き方について話し合う。 ●「私」は、無名の脇役のどんなところに生きがいを感じているのだろうか。 ●無名か有名か、その違いはなんだろう。 ●生きがいのある人生とはどんな人生だろう。あなたが自分らしく生きていくうえで大切にしたいことはなんだろう。 3 今日の授業で学んだことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 「生きがいのある充実した人生」について無名・有名の観点から考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「生きがいのある充実した人生」について、今後の自分の生き方として志そうとする意欲を高めている。	特別活動	目標 8

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
補充 教材	32 復旧にとどまら ず、復興を ～後藤新平～ 「よりよい社会のため に」 【C 社会参画、公共の精 神】	1	「私たちの学校や住んで いる地域をよくするため にできそうなこと」につ いての議論を通して、これ からの生活や社会をよりよ くするために主体的に関 わっていかうとする態度 を育てる。	1 「社会の役に立つ」とはどういうことか、話し合う。 ○「社会の役に立つ」って、どういうことだろう。 2 新平の決断を支えた思いについて話し合う。 ●新平が、予算の削減や計画の修正を決断したのはなぜだろう。 ●「自治三訣」の言葉には、新平のどんな思いがこめられているのだろう。 3 社会をよりよくするために、自分にできることについて考える。 ●住んでいる地域や学校をよりよくするために、あなたにできそうなことはなん だろう。	【多面的・多角的に考える】 社会の役に立つとはどういうことか、話し 合いを通して、より多くの友人と意見を交 換し、考えを広げている。 【自分ごととして考える】 「住んでいる地域や学校をよりよくするた めにできそうなこと」について自分なりに 考えを深めている。	社会	目標 9 目標 11
	33 サッカーの種をま く 「郷土のよさや強み」 【C 郷土の伝統と文化の 尊重、郷土を愛する態度】	1	郷土の伝統を興した人と それを受け止め支えた 人々、双方の思いを推し測 ることを通して、自分も地 域の一員だという自覚と 誇りを持ち、伝統や文化の 継承に努めようとする態 度を育てる。	1 自分の住む地域の特産や特徴について知っていることを出し合う。 ○自分の住む地域のよさや特徴はなんだろう。 2 「サッカーの種をまく」を読み、地域のよさや強みについて考える。 ●錦織先生は、どんな思いで校技をサッカーにしたのだろう。 ●志太中第一回生は、どんな思いで校技であるサッカーに取り組んだのだろう。 ●あなたの住む地域のよさや強みとはなんだろう。 3 郷土の伝統や文化について知り、感じたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 郷土の伝統を興した錦織校長の思いと、そ れを受けて支えた志太中第一回生の思いの 双方から考えている。 【自分ごととして考える】 郷土のよさや強み、伝統や文化について理 解を深め、それを守っていこうとする意欲 を高めている。	保健体育	目標 8
	34 ドイツ・ヴリー ツェンに眠る日本人医 師 ～肥沼信次の生涯～ 「世界の中の日本人とし て」 【C 国際理解、国際貢献】	1	戦後、ドイツに残って伝染 病の診療活動を続け、最期 は自らも感染し客死した 肥沼信次の生き方につ いて学ぶことを通して、国際 貢献のあり方について考 えようとする態度を育て る。	1 肥沼の墓について知る。 ○国際社会で生きていくうえで、あなたが大切にしたいことはなんだろうか。 2 「ドイツ・ヴリーツェンに眠る日本人医師 ～肥沼信次の生涯～」を読み、肥 沼の生き方について話し合う。 ●「私は純粋な日本人である」という肥沼信次の宣誓にはどのような思いがこめら れているのだろう。 ●過酷な状況にもかかわらず、肥沼がドイツに踏みとどまったのはなぜだろう。 3 肥沼の生き方を通して自分の人生に取り込んでみたいと思ったことについて 考えをまとめる。 ●肥沼の生き方から、あなたの生き方にいかせるのはどんなことだろう。	【多面的・多角的に考える】 肥沼の生き方や信条について話し合うこ とを通して、国際貢献のあり方に対する考 えを深めている。 【自分ごととして考える】 肥沼の生涯を貫く信条を、これからの自分 の人生にどのように取り込むことができ るか、考えを深めている。	社会	目標 3 目標 16
	35 語りかける目 「気高く生きる」 【D よりよく生きる喜び】	1	震災で母を失った少女の 姿を通して、人間には弱さ を克服する強さや気高く 生きようとする心がある ことを理解し、人間として 生きること喜びを見い だそうとする心情を育て る。	1 気高さを感じる時について考える。 ○人間として気高く生きるとは、どういうことだろう。 2 「語りかける目」を読み、気高い生き方について話し合う。 ●「もう逃げなさい。」と母が握っていた手を放した時、少女はどんな気持ちだっ ただろう。 ●少女は、どんな思いで母の遺骨を拾い集め、「ナベ」を守り続けているのだろう。 ●少女の目が語りかけ、今も語り続けていることとはなんだろう。 3 人間として気高く生きることについて考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 人間として気高く生きることについて、少 女の心情を理解しながら考えを深めてい る。 【自分ごととして考える】 少女の目が語りかけ、今も語り続けている こととは何かを考え、人間として生きるこ とについて、少女の葛藤を共感的に捉え、自 らの経験と重ねて考えを深めている。	特別活動	